

市町村名		渡嘉敷村				
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-①	渡嘉敷村観光総合推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア
担当部署名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-1-(1)
事業内容	入域観光客数の増加を図るため、県内外で開催される観光イベント等での観光PR活動、各種広告媒体を活用した情報発信及び、増加する外国人観光客の受入体制の整備を行う。(この事業は、平成28年度の「渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業」及び「渡嘉敷村観光受入整備対応事業」と「渡嘉敷村観光実施計画策定事業」を統合した事業である。)					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	(a) 当初予算額	73,734	48,829	50,901	59,595	
	(b) 予算現額	55,620	42,981	35,668	42,564	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 18,114	▲ 5,848	▲ 15,233	▲ 17,031	0
	(d) 繰越額	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	55,620	42,981	35,668	42,564	0
	B. 執行済額	51,587	41,889	33,970	36,104	
	うち交付金充当額	41,269	33,511	27,176	28,883	
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	92.7%	97.5%	95.2%	84.8%	#DIV/0!
予算の状況の説明	コロナ禍における事業の見直しにより、多言語対応派遣人員の減員(委託料5,499千円、旅費1,673千円を減額)、県内外イベントの開催方法変更に伴う出展等の見直し(旅費1,425千円、使用料及び賃借料141千円を減額)、入札執行残(8,293千円を減額)により17,031千円を減額した。不用額6,460千円については、委託費の精算によるものである。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)		達成状況			
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	PRツール制作配布 渡嘉敷島MAP(日本語):15,000部、(多言語版):5,000部、ポストカード:25,000枚、ノベルティ(マスク・トートバック):2,000枚、ポスター:64枚	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )
		実績	実施	実施	実施	実施
	県内外で行われるイベントでのPR活動:12人	目標	( 2人派遣 )	( 7人派遣 )	( 11人派遣 )	( 12人派遣 )
		実績	2人派遣	4人派遣	4人派遣	実績無し
	広告掲載:18万部	目標	( 20万部 )	( 20万部 )	( 20万部 )	( 18万部 )
		実績	20万部	20万部	20万部	20万部
	外国語スタッフの配置:3人	目標	( 2名 )	( 3名 )	( 3名 )	( 3名 )
		実績	1名	1人	2人	2人
多言語観光案内サイン板制作:4基	目標	(      )	( 5基 )	( 4基 )	(      )	
	実績		5基	4基		
達成状況説明	・PRツール制作配布:PRツールについては、渡嘉敷島MAP(日本語)15,000部、渡嘉敷島MAP(多言語)5,000部、ポストカード25,000枚、ノベルティ(マスク・トートバック)2,000枚、ポスター64枚を作成し、県内イベント1件へ参加しPR活動を行った。 ・県内外で行われるイベントでのPR活動:新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、渡航を伴う出展については中止とした。県内イベント1件(ツーリズムエキスポジャパン)の出展について、職員等2名で対応し渡嘉敷村のPRを実施した。 ・広告掲載:「沖縄・離島情報」へ広告を掲載し、20万部を発行した。 ・外国語スタッフの配置:3名の配置を予定していたが、業務内容を調整し2人(12ヶ月間)配置した。					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (H24年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)
	・年間入域観光客数 136,769人以上	目標	( 109,578 )	( 136,769 )	( )	( )	( )
		実績		133,138			
	・外国人観光客数 28,600人以上	目標	( )	( 28,600 )	( )	( )	( )
		実績		19,723			
	・年間入域観光客数 150,000人以上	目標	( )	( )	( 150,000 )	( )	( )
		実績			131,379		
	・年間入域観光客数 137,000人以上	目標	( )	( )	( )	( 137,000 )	( )
実績					49,752		
・外国人観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )	
	実績			未検証	未検証		
【参考指標】 年間入域観光客数 実績	目標	( )	( )	( )	( )	( )	
	実績			133,138	131,379	49,752	
進捗状況説明	<p>コロナ禍収束後の観光需要回復を狙い、PRツールの制作や広告掲載、外国語対応スタッフの配置により、誘客・受入体制を強化することができた。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、年間入域観光客数は、前年度から81,600人減少し目標を大きく下回った。月別比較では、令和3年3月を除き、すべての月で大きく減少した。</p> <p>・アンケートについて、令和3年2月に沖縄県への来訪経験者を対象にWEBアンケートを実施した。現在、外国からの入国が困難なことから、外国人観光客は対象とせず、未検証となった。日本人観光客(渡嘉敷島認知者)の回答結果は、項目「渡嘉敷島の魅力について」に対し、「とても魅力を感じる 20.2%」「魅力を感じる 32.5%」「やや魅力を感じる 20.9%」と、今後の来訪意欲につながる肯定的な回答が73.6%となった。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>(年間入域観光客数)</p> <p>・コロナ禍収束後の取組について、「新しい生活様式」を取り入れた「新しい観光の形」を検討し、入域数については、受入可能な上限値を検討する必要がある。</p> <p>(アンケート)</p> <p>・利便性の確保に関するアンケートは、有効な回答数を得られる時期・方法(来訪中または来訪直後など、Webアンケート)を検討する必要がある。</p>	<p>(年間入域観光客数)</p> <p>・「新しい生活様式」を取り入れた受入体制の構築と、対応する観光メニューを造成し、入域数の増加(回復)、平準化を図る。</p> <p>(アンケート)</p> <p>・従来の方式(紙媒体による対面アンケート)に加え、Webアンケート方式も採用し、実施・回収効率の向上を図る。</p>

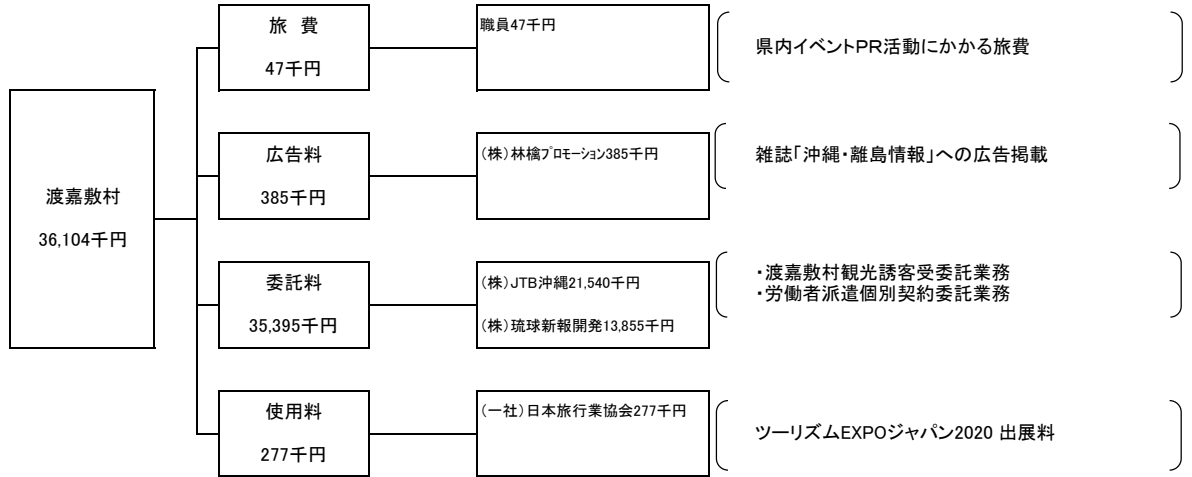
今後の取り組み方針

- (年間入域観光客数)
- ・「新しい生活様式」を取り入れた「新しい観光の形」から、新規客層の開拓・誘客に取り組む。
- (アンケート)
- ・実施スケジュールに基づくアンケートに取り組む。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
36,104	36,104	28,883	7,221	0

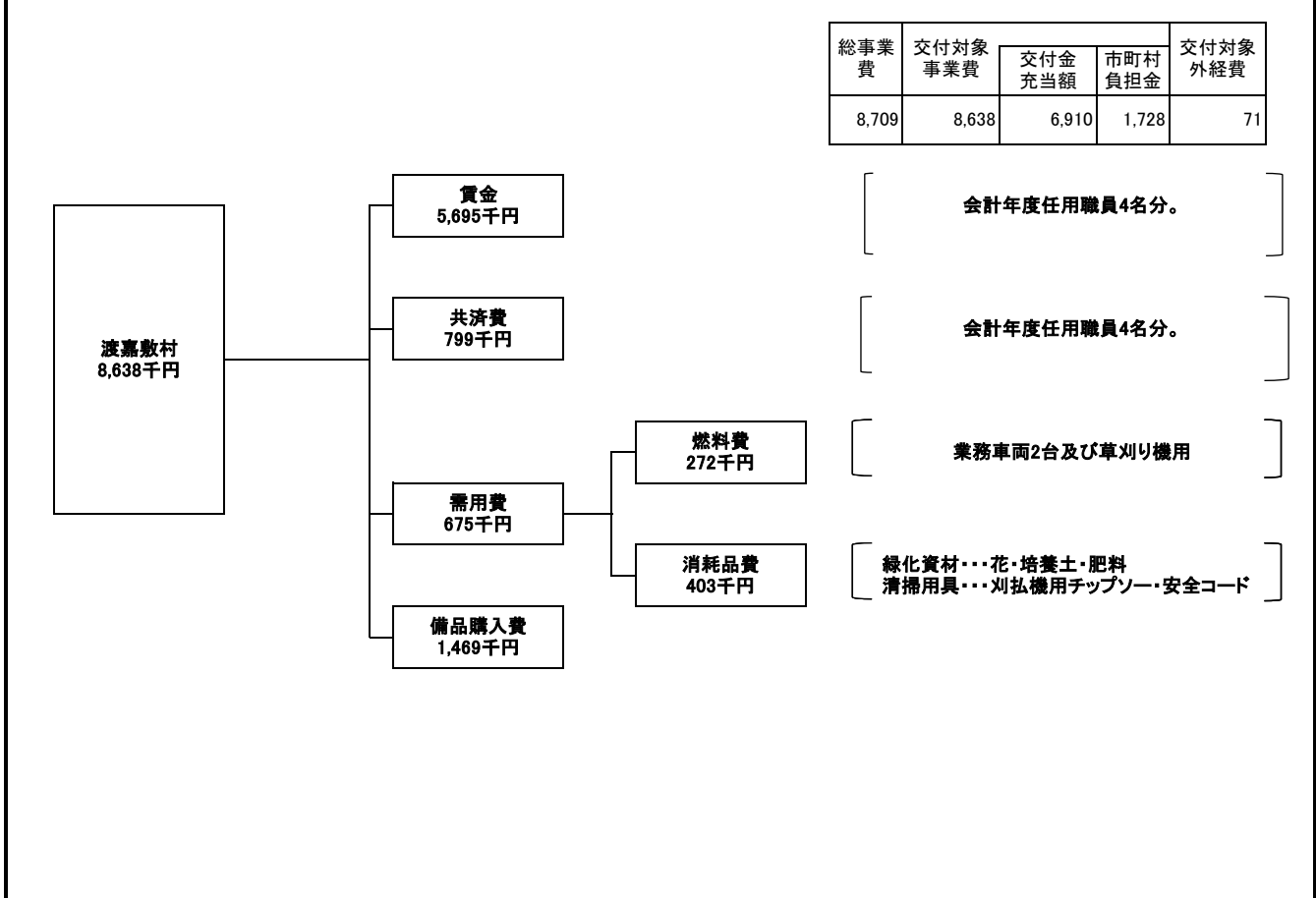


資金の 使途の 点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考えられる。</p> <p>○感染症の影響を考慮した事業見直しにより、精算による不用額は事業費の15%を超えた。</p> <p>○費目、使途については検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断する。</p>
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	渡嘉敷村美化清掃事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び植栽を実施する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
		(a) 当初予算額	9,680	9,680	9,790	9,886	11,627	
	(b) 予算現額	8,144	9,680	9,790	7,042	9,098		
	(c) 増減額(b-a)	▲ 1,536	0	0	▲ 2,844	▲ 2,529		
	(d) 繰越額							
	A. 計(b+d)	8,144	9,680	9,790	7,042	9,098		
	B. 執行済額	7,513	8,452	7,934	5,102	8,638		
	うち交付金充当額	6,009	6,761	6,347	4,081	6,910		
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)	92.3%	87.3%	81.0%	72.5%	94.9%		
予算の状況の説明	乗用芝刈機購入額が入札により減少。また、コロナ禍により入域客数が例年の半数以下となり、植栽の数量を調整した箇所がある。							
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	花木植栽10箇所実施	目標	(花木植栽8箇所)	(花木植栽8箇所)	(花木植栽8箇所)	(花木植栽10箇所)		
		実績	花木植栽8箇所	花木植栽8箇所	花木植栽8箇所	花木植栽10箇所		
	美化清掃10箇所実施	目標	(美化清掃8箇所)	(美化清掃8箇所)	(美化清掃8箇所)	(美化清掃10箇所)		
実績		美化清掃8箇所	美化清掃8箇所	美化清掃8箇所	美化清掃10箇所			
達成状況説明	観光客が利用する公共施設や展望所等10箇所(渡嘉敷港旅客待合所、港の見える丘展望台、アラン展望台、前岳林道東屋、照山園地、阿波連漁港、阿波連園地、渡嘉志久海岸公園、ユクンチジ花壇、見花原遊歩道)を対象に、公衆トイレ及び施設等の清掃作業、施設周辺の除草・植栽作業を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標	(      )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(      )
			実績		87%	92%	87%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆トイレや園地の清掃・除草作業を本年実施したことで、環境整備の行き届いた魅力的な観光地としての景観を維持することができた。</li> <li>・観光客を対象としたアンケートの結果、本事業該当10箇所において「きれい」との肯定的な答えは87%だった。</li> </ul>							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・美化清掃作業員の雇用形態が会計年度任用職員制度へ変更となり、清掃作業は週休日等にも実施することから休暇のやりくりの一部困難が生じた。	・年度末に休暇の取得が集中する傾向があるため、長期的な勤務計画に基づき休暇の取得状況を年間を通し平準化させる。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<p>・雇用制度の変更があったことから、休暇制度について、美化清掃作業員に再周知を行う。休暇の取得が時期や個人によって偏りのないよう配慮する。また、地域住民に美化清掃事業の周知を行い、常時、事業に必要な人員数を確保できるよう努める。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



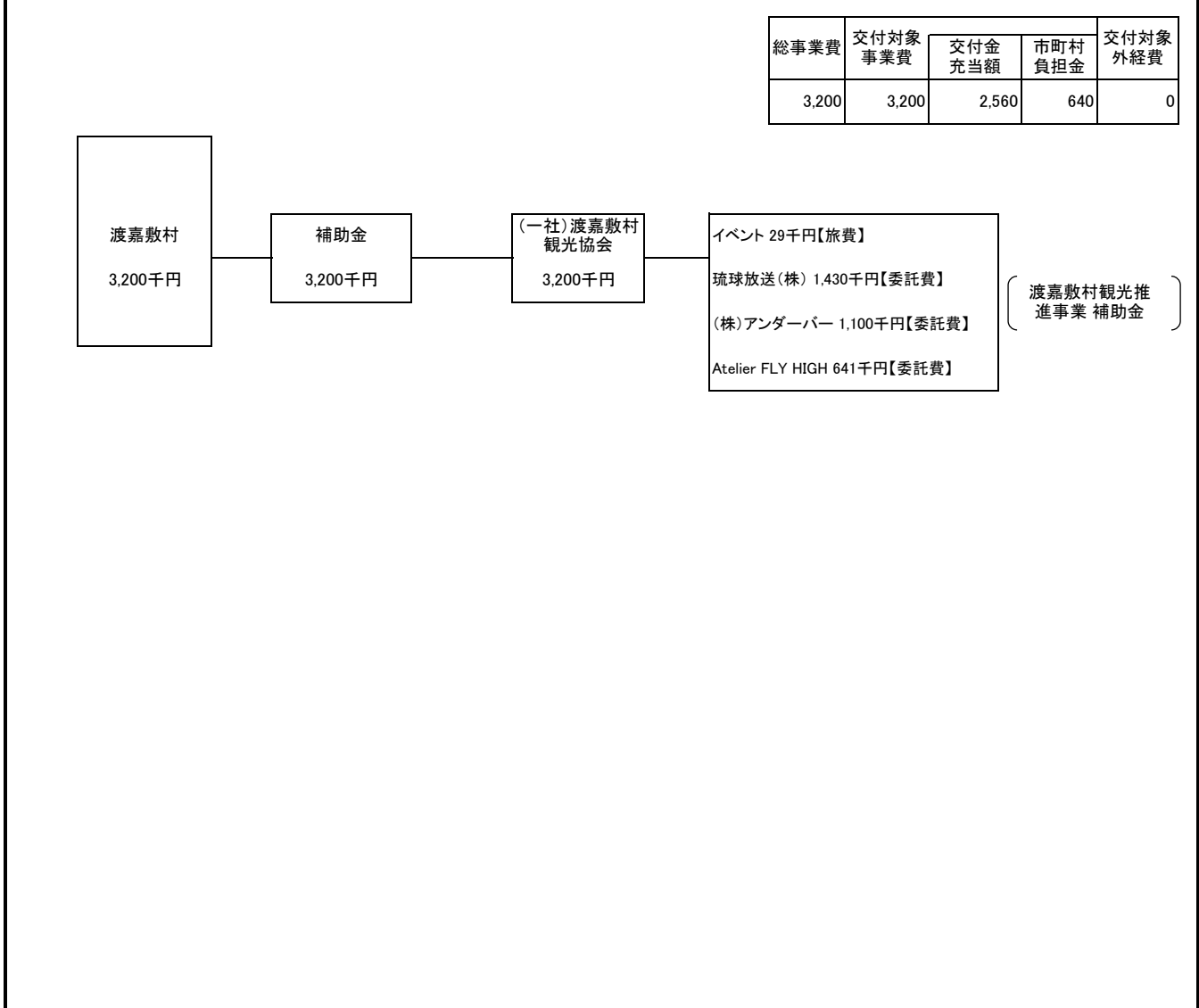
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員は村内において公募により採用しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○清掃箇所10か所に対し、作業員4名の人件費と作業に伴う需用費を支出。備品購入についても適正な手順に従っている。予算規模について、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により額の確定時に確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③ 渡嘉敷村観光振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-ア		
	観光産業課		事業実施(予定)年度	平成29~平成30年度 令和2~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
担当部課名					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	渡嘉敷村の観光振興を図るため、各イベント実行委員会への支援や、修学旅行等の誘致活動に取り組む観光協会への支援を行う。(この事業は、平成28年度の「渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業」から分離した事業である。)						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	8,800	8,800		17,800	
	(b)予算現額	8,800	7,200		3,600		
	(c)増減額(b-a)	0	▲1,600		▲14,200		
	(d)繰越額	-	-		-		
	A.計(b+d)	8,800	7,200		3,600		
	B.執行済額	8,800	6,119		3,200		
	うち交付金充当額	7,040	4,895		2,560		
	次年度繰越額	0	0		0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	85.0%		88.9%		
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、補助先となる村観光協会の事業見直しや、各イベントの中止により補助金14,200千円を減額する。不用額400千円については、村観光協会が行う修学旅行誘致・受入事業の規模縮小により、実績額が縮小したことによるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	修学旅行誘致活動(県外旅行社17社及び高等学校3校訪問)(関東・関西での修学旅行フェア出展)	目標	( )	( 17社・3校 関東・関西 出展 )	( )	( )	
		実績		17社・2校 関東・関西 出展			
	県外旅行社会社招聘2社	目標	( 2社招聘 )	( 2社招聘 )	( )	( )	
		実績	2社招聘	1社招聘			
観光協会への支援	目標	( )	( )	( )	( 実施 )		
	実績				実施		
達成状況説明	渡嘉敷村の観光振興を図るため、誘客活動や修学旅行等の誘致活動に取り組む観光協会を支援した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	修学旅行受入対応 14校	目標	( )	( 14校 )	( )	( )	( )
		実績		13校			
	旅行社招聘 3社	目標	( )	( 3社招聘 )	( )	( )	( )
		実績		1社招聘			
	年間入域観光客数 137,000人以上	目標	( )	( )	( )	( 137,000 )	( )
		実績				49,752	
	修学旅行受入校数 12校以上/年	目標	( )	( )	( )	( 12校 )	( )
		実績				0校	
	【参考指標】年間入域観光客数 実績	目標	( )	( )	( )	( )	( )
実績			133,138	131,379	49,752		
進捗状況説明	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、年間入域観光客数は、前年度から81,627人減少し目標を大きく下回った。月別比較では、令和3年3月を除き、すべての月で大きく減少した。 ・修学旅行の受入について、感染症の感染拡大の影響により予定していた9校(県外5校・県内4校)全てが中止となった。うち県内1校については、オンラインによる体験プログラムを実施した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(年間入域観光客数・修学旅行受入校数について) ・修学旅行受入数の減については、感染症の感染拡大の影響が要因と考えられる。コロナ禍収束後の取組として、「新しい生活様式」を取り入れた団体旅行の受入方法を検討する必要がある。	(年間入域観光客数・修学旅行受入校数について) ・「新しい生活様式」を取り入れた受入体制の構築と、受入時期の分散や、船舶の運航率による時期の選定などにより受入数の増に繋げる。

今後の取り組み方針
(年間入域観光客数・修学旅行受入校数について) ・渡嘉敷村観光協会による「新しい生活様式」を取り入れた受入体制の構築を支援し、観光誘客に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



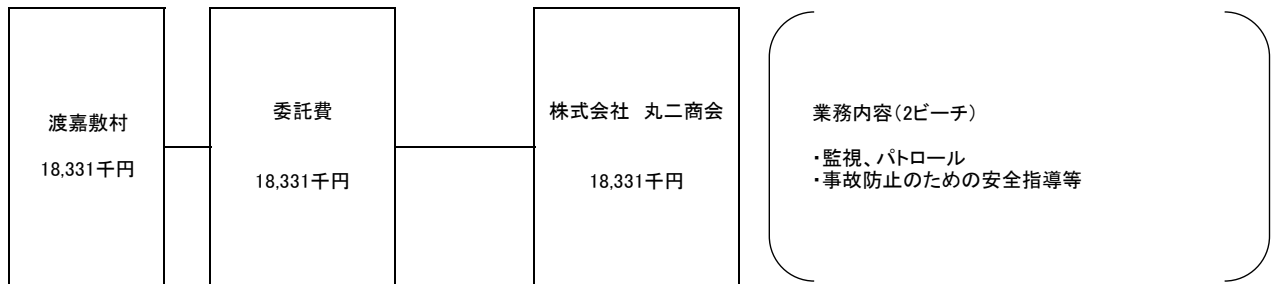
資金の流点れ、評価目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は、交付金交付要綱による審査により決定していることから、妥当であるとする。 ○実績報告を精査し妥当な予算規模と考える。 ○費目、用途については補助金交付要綱の目的に即し、必要なものであったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	渡嘉敷村海域安全確保事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	観光産業課	事業実施(予定)年度	令和1年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	村内の2ビーチにおいて、遊泳者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	R1年度	R2年度	R3年度		
		(b) 予算現額	10,534	19,063			
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 732	0	0	
		(d) 繰越額	-	-			
	A. 計(b+d)		10,534	18,331	0	0	
	B. 執行済額		9,923	18,331			
	うち交付金充当額		7,938	14,664			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		94.2%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	予算の状況の説明		不用額732千円については、委託の精算によるものである。				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度		
	水難救助員等の配置 ・阿波連ビーチ 2名(3名) ・渡嘉志久ビーチ 2名 (7～9月 阿波連ビーチ 1名追加)	目標	( 7月～10月末 常駐配置 )	(                      )	(                      )	(                      )	
		実績	7月1日～10月31日 配置				
	水難救助員等の配置 ・阿波連ビーチ 2名(3名) ・渡嘉志久ビーチ 2名(3名) (7～8月 1名追加)	目標	(                      )	( 4月～10月末 常駐配置 )	(                      )	(                      )	
		実績		4月18日～10月31日 配置			
達成状況説明	渡嘉敷村2ビーチ(阿波連ビーチ、渡嘉志久ビーチ)を、(株)丸二商会のスタッフが常駐し監視を行った。 業務期間: 令和2年4月18日～令和2年10月31日 監視人数: 各ビーチ2名ずつ合計4名配置。夏季繁忙期(7月1日～8月31日)は阿波連ビーチへ1名増員し、5名体制で監視を行った。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故	目標	(                      )	( 0件 )	( 0件 )	(                      )	(                      )
		実績		1件	0件		
		目標	(                      )	(                      )	(                      )	(                      )	(                      )
		実績					
	進捗状況説明	・村内2ビーチ(阿波連ビーチ、渡嘉志久ビーチ)において令和2年4月18日～令和2年10月31日の間、水難救助員等を配置し、ビーチにおける事故防止と安全確保を図ることが出来た。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーチの利用ルールにより、遊泳エリア等を周知(村HP、ビーチ入口看板)しているが、区域外を利用する遊泳者も多く、利用者の状況によっては、監視体制の確保が困難となる。</li> <li>・感染症対策を踏まえた活動を、取り組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーチにおける事故防止と安全確保は、「監視体制の確保(水難救助員等)」と「遊泳者(ビーチ利用者)による利用ルールの遵守」から可能となると考える。利用者や地域事業者の意見を参考に、遊泳エリアの見直しや、ルールの周知方法を検証する。</li> <li>・感染症拡大予防ガイドラインを策定・遵守し、感染防止に努める。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した監視体制を構築し、事故防止と安全確保に取り組む。</li> <li>・村HP掲載や定期船内における案内など、ビーチ利用ルールの周知に取り組む。</li> <li>・感染症拡大予防ガイドラインに基づいた監視体制に取り組む。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
18,331	18,331	14,664	3,667	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考えられる。</li> <li>○不用額は事業費の精算によるものであり、ほぼ妥当な予算規模と考える。</li> <li>○費目、使途については検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断する。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

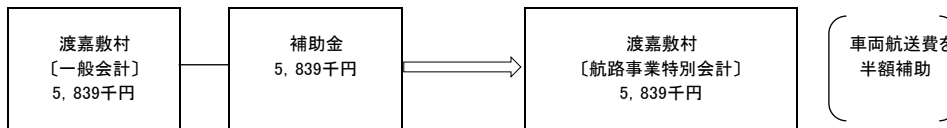


市町村名		渡嘉敷村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	自動車航送コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-3-(11)-ア	
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減	
事業内容	渡嘉敷港～那覇泊港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a)当初予算額	1,486	3,056	3,056	4,170	4,233
	(b)予算現額	3,215	4,066	4,564	5,456	5,839	
	(c)増減額(b-a)	1,729	1,010	1,508	1,286	1,606	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	3,215	4,066	4,564	5,456	5,839	
	B.執行済額	3,215	4,066	4,564	5,456	5,839	
	うち交付金充当額	2,572	3,253	3,651	4,365	4,671	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	事業が浸透し、利用者が増となり、当初予定を上回ったため増額補正を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	年間自動車航送台数 自動車(二輪車を含め)	目標	( 400 )	( 400 )	( 550 )	( 560 )	
		実績	483	631	745	790	
		目標	( )	( )	( )		
		実績					
達成状況説明	コロナ禍にあっても目標台数を大幅に上回る結果となった。特に車長3～4mの車両については目標の倍近い台数となっている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )
		実績		100%	99%	99%	
	【参考指標】 自動車航送台数	目標	( )	( 400 )	( 550 )	( 560 )	( )
実績			631	745	790		
進捗状況説明	平成30年度よりアンケートを実施し、本事業について99%の「満足している」との回答を得ている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	コロナ禍にあっても本事業の利用者が増加し、予算額を上回ったため、予算の増額補正を行った	実績を参考に目標値の増を検討する。
今後の取り組み方針		
例年目標値を上回る利用があり、住民への認知もされてきたため、現状を継続していく。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
5,839	5,839	4,671	1,168	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、渡嘉敷村役場船船課のみとなるため妥当だと考える。 ○予算規模については妥当だと考える。 ○受益者との負担関係は、車両航送運賃を適正に支援しているため妥当だと考える。 ○費目・用途については、各停時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減	
事業内容	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港~渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
	(b) 予算現額	1,260	1,290	2,100	1,300	1,300	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 2,040	▲ 2,010	▲ 1,200	▲ 2,000	▲ 2,000	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	1,260	1,290	2,100	1,300	1,300	
	B. 執行済額	930	960	60	210	120	
	うち交付金充当額	744	768	48	168	96	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	73.8%	74.4%	2.9%	16.2%	9.2%	
予算の状況の説明		補助対象事業者の運航自粛による利用期間縮小から2,000千円減額した。最終的にはヘリコプターチャーター回数がさらに減となったため1,180千円の不用が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	年間補助回数	目標	( 110回 )	( 110回 )	( 110回 )	( 110回 )	
		実績	43回	2回	7回	4回	
		目標		(      )	(      )	(      )	
		実績					
達成状況説明	前年同様にヘリコプターチャーター利用回数が大幅減となり目標を下回る結果となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(      )
		実績		100%	100%		
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
	進捗状況説明	利用者は大幅に減少しているが、アンケート調査では利便性を確保出来ているという結果が出た。					

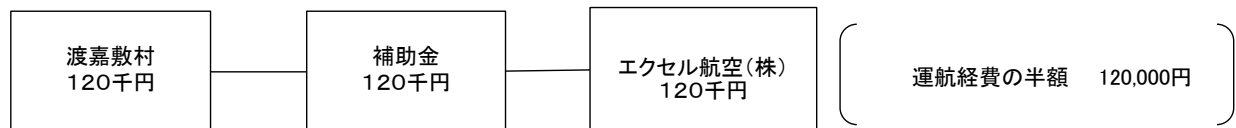
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	利用者へのアンケート調査の結果、ヘリコプターチャーター料金を半額補助することにより、住民及び観光客の交通手段の利便性の確保ができたが、今年度は台風の回数が少なく、新型コロナの影響により観光客数も減(11万人→4万人)となっている為、利用回数が少なかった。	新型コロナの影響等で利用者の減少がしばらく続く事が予想されるため、事業費の縮小を検討する。

**今後の取り組み方針**

アンケート調査を継続し、利便性の確保の確認や当該事業のあり方を検証する。また、必要事業費を算定し直す。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
120	120	96	24	0



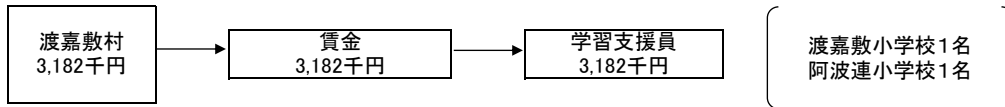
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、エクセル航空(株)の1社のみが事業者として参入しているため妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、これまでの船舶欠航実績等により算出しているため妥当と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、運航経費の半額を適正に補助している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業実績に基づき必要なものに限定されていると考える。

市町村名		渡嘉敷村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①		小学校学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
	担当部署名	教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充
事業内容		児童の学力に応じた個々の学習指導を行う事で、学力の向上を図るため、村立小学校に学習支援員を配置する。					Ⅲ-3-(1)
	効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)					
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a)当初予算額	4,496	5,210	6,722	6,415	9,562
	(b)予算現額	3,100	3,287	4,967	4,888	7,354	
	(c)増減額(b-a)	▲1,396	▲1,923	▲1,755	▲1,527	▲2,208	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	3,100	3,287	4,967	4,888	7,354	
	B.執行済額	2,643	2,526	4,245	3,793	3,182	
	うち交付金充当額	2,114	2,021	3,396	3,034	2,545	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	85.3%	76.8%	85.5%	77.6%	43.3%	
予算の状況の説明		学習支援員配置については、本事業と沖縄県の複式学級教育改善事業を活用して実施しているが、当初予算算定時においては、複式学級教育改善事業の補助が確定していないため、支出予定額全額を本事業にて計上している。事業決定後、複式学級教育改善事業補助額を減額している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	渡嘉敷小学校へ支援員を2名派遣 阿波連小学校へ支援員を2名派遣		目標 ( 4名 )	4名 )	( 4名 )	( 4名 )	
			実績	3名	3名	4名	2名
			目標 ( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明		令和2年度は渡嘉敷小学校 1名、阿波連小学校 1名の配置となり、目標の各校2名配置は達成できなかった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+9.2ポイント以上		目標 ( )	( 8.6 )	( 9.3 )	( 9.2 )	( )
			実績	9.2	3.1	7.9	
			目標 ( )	( )	( )	( )	( )
			実績				
進捗状況説明		目標値の沖縄県学力到達度調査における県と村との全体の平均正答率の差+9.2ポイントを下回る+7.9ポイントという結果になった。令和2年度の到達度調査の結果(平均正答率)は、小5国語(村62.3%、県56.7%)、小5算数(村55%、県45.2%)、小6算数(村64.4%、県56%)である。令和2年度より、小3国語、算数・小4算数・小5理科の調査がなくなった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	年間通して募集をかけていたが、計画人員の確保ができなかった。目標値には届かなかったが、県の平均正答率を上回っており、児童の学力向上が図られていると考える。	計画人員確保ができなかったため、年度途中からでも確保できるよう、継続して募集をかけ続ける事に努める。
今後の取り組み方針		
児童の学力向上を図るため、支援員の配置、人員確保のための募集を継続して行っていく。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

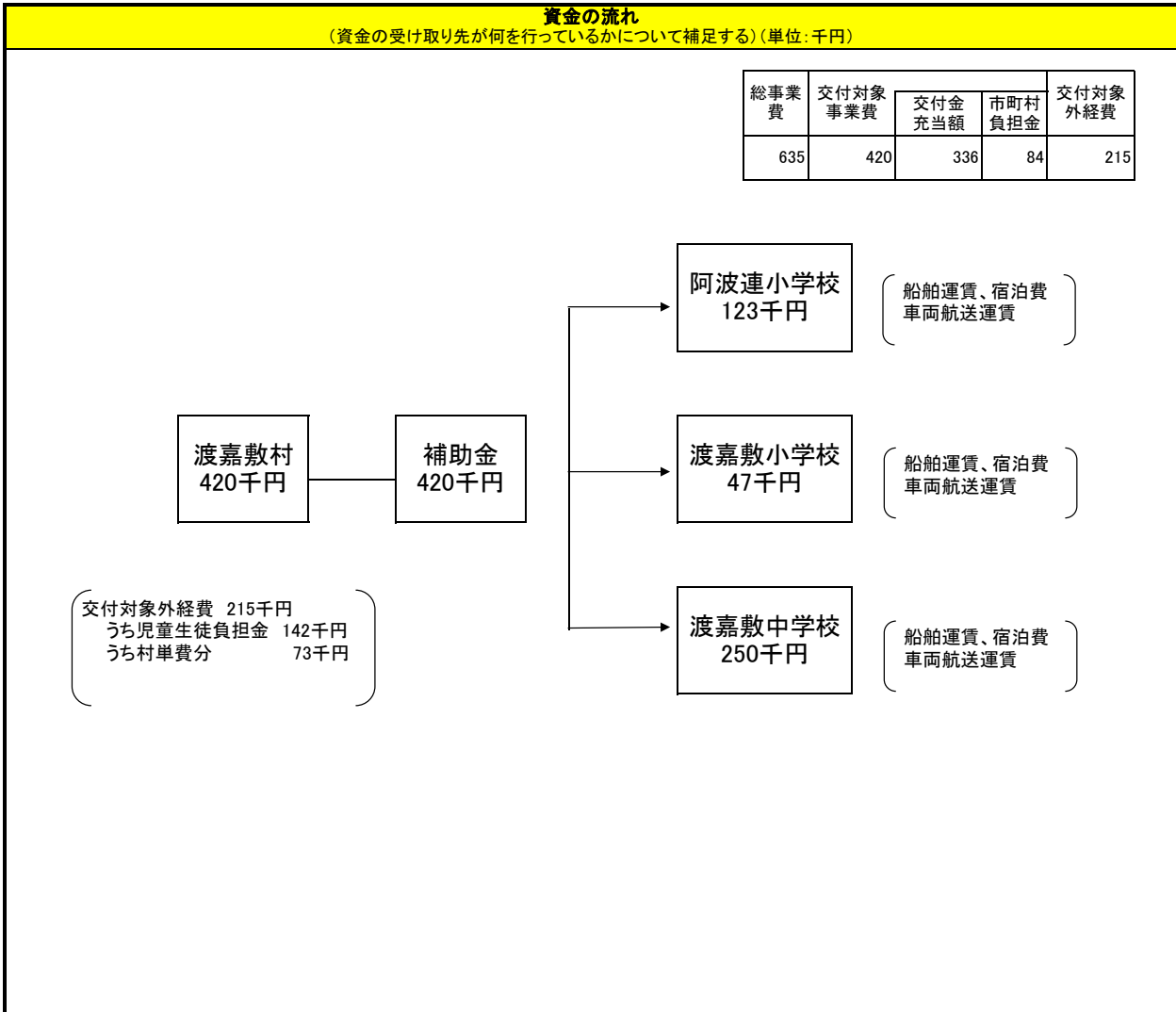
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,182	3,182	2,545	637	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・選定は有資格者、経験者を採用しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・有資格者の支援員の時給については、県の時給との均衡を考慮して設定しているため、予算規模は適正であると考え。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・使途については、実績に基づいており適性であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	児童・生徒派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	島外の人との競争や交流の機会を増やす事で児童生徒に広い視野を持たせるため、村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会(県大会や全国大会等)に参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	<b>予算の状況</b>		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		(a) 当初予算額	2,861	2,565	3,460	2,288	2,715
		(b) 予算現額	3,269	2,861	1,397	2,110	517
		(c) 増減額(b-a)	408	296	▲ 2,063	▲ 178	▲ 2,198
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	3,269	2,861	1,397	2,110	517
		B. 執行済額	2317	1221	1555	1,714	420
		うち交付金充当額	1215	977	1243	1,370	336
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	70.9%	42.7%	111.3%	81.2%	81.2%
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、大会の中止や、発表会等はオンラインにて開催となり、2,198千円の予算の減額があった。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	阿波連小学校児童派遣 4件	目標	( )	( 4件 )	( 4件 )	( 4件 )	
		実績		3件	3件	1件	
	渡嘉敷小学校児童派遣 3件	目標	( )	( 3件 )	( 3件 )	( 3件 )	
		実績		3件	3件	1件	
	渡嘉敷中学校生徒派遣 10件	目標	( )	( 10件 )	( 13件 )	( 10件 )	
		実績		7件	7件	3件	
	【参考指標】 派遣児童生徒(累計)	目標	( 227人 )	( )	( )	( )	
		実績		159人	238人	192人	71名
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの大会が中止となり、例年と比べ大幅に派遣数が減少した。この状況下ではあったが、各校実施できる派遣事業もあり、離島小規模校では体験できない貴重な経験を積むことが出来た。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業の在り方を検証する。	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( )
		実績		90%	94%	82%	
進捗状況説明	保護者へのアンケート調査において、3校の児童・生徒が、村外で実施されたスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験できない貴重な体験を積む事ができたと回答した割合は82%(26人/32人)であった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの大会が中止となった。	大会が中止となった場合でも、児童・生徒が島内では出来ない経験を積めるよう、一般で行われる大会や、島外の学校との練習試合など、派遣内容の検討が必要である。
今後の取り組み方針		
大会自体が中止となってしまった場合、離島校では練習の成果を発揮する場がなくなってしまう。大会が中止となっても、練習試合等への派遣を検討し、島内では出来ない経験や競争、交流機会の確保を図る。		



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の流れ、費目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	各学校による補助申請に対し補助を行っているため妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模は適正な規模で確保されており、感染症の影響もあったものの妥当であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程により負担しており、妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途については、真に必要なものか等について、額の確定時に支出等に関する書類により確認している為、適正であったと考える。



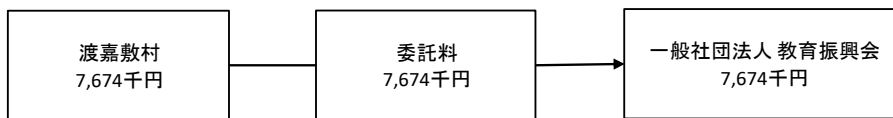
市町村名		渡嘉敷村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	家庭教育支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-(イ)	
担当部課名	渡嘉敷村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	小学校5年生～中学3年生を対象にWebシステムを用いた授業による学習塾を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	8,660	14,638	14,635	13,402	12,727
	(b) 予算現額	4,863	7,976	8,243	9,000	7,674	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 3,797	▲ 6,662	▲ 6,392	▲ 4,402	▲ 5,053	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	4,863	7,976	8,243	9,000	7,674	
	B. 執行済額	4,294	6,976	8,160	8,999	7,674	
	うち交付金充当額	3,435	5,580	6,528	7,199	6,139	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	88.3%	87.5%	99.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響により実施期間の縮小、 新型コロナウイルスの影響により授業数の減 新型コロナウイルスの影響によりタブレットの納期が2ヶ月ほど遅れたため、5,053千円減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	小学校5年(国語・算数)72授業 小学校6年(国語・算数)72授業 中学1年生(英語・数学)72授業 中学2年生(英語・数学)72授業 中学3年生(英語・数学・国語)132授業	目標	( 440授業 )	( 302授業 )	( 220授業 )	( 420授業 )	
		実績	321授業	296授業	240授業	382授業	
		目標	( )	( )	( )	( )	
	実績						
達成状況説明	対象人数52名に対し42名の申込があり約8割近くの参加があった。また、毎回の参加率も良かった。 海上時化による船舶の欠航で、現地支援員が来島出来ず事業実施出来ない日が5日あり目標に到達出来なかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		学習塾内で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差を-14.1点以内とする。	目標	( )	( -8.4点以内 )	( -11.7点以内 )	( -11.7点以内 )
		実績		-11.7点	-14.1点	-14.9点	-24.1点
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	全国平均点を目標に取組んでいたが、昨年度よりも差がひらく結果となってしまった。 数名の児童生徒には、全国平均点を上回るテスト結果が見られた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(授業数) ・新型コロナウイルスの影響もあり当初の事業実施計画より1ヶ月遅れることとなった。	(授業数) ・海上時化でもオンライン会議システムなどを用いて、生徒が学習出来る環境を構築する。
	(全国平均との差) ・本村児童生徒の模試試験の点数差が大きく平均点が伸びなかった。 ・数名の生徒に関しては、全国平均を上回ることが見られた。	(全国平均との差) ・別の全国規模の模試を使用することを検討する。 ・学力が劣る児童生徒には、個別授業の実施を検討する。

今後の取り組み方針
(授業数) ・海上時化などで学習支援員が来島出来ない場合でも、ライブ授業を行い授業日数の確保を行う。
(全国平均との差) ・受託業者と協議を行い、模試の受検回数を増やして傾向と対策をし全国との差を縮める様な取り組みを行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,674	7,674	6,139	1,535	



オンライン学習塾の運営  
 ・講師の選定  
 ・使用機器の選定  
 ・システムの構築  
 ・現場支援員の確保、指導

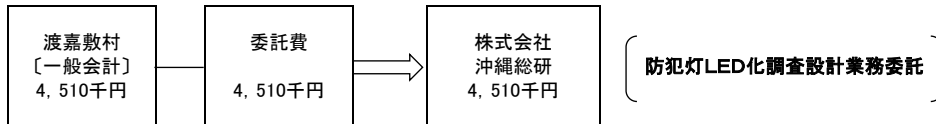
資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は企画提案募集で選定しており、妥当である。 ・執行率100%のため予算規模については適正な規模である。 ・費目、使途については精算段階で検査を実施しており、事業目的達成のために必要、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	渡嘉敷村低炭素な村作り推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ウ	
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	令和2～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	低炭素都市づくりの推進 Ⅲ-10	
事業内容	低炭素社会への転換を推進し、地球温暖化対策へ寄与するとともに、防犯灯における二酸化炭素排出量を削減するため、村内既存の防犯灯(水銀灯・蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明等への切替を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,396				
		(b) 予算現額	4,510				
		(c) 増減額(b-a)	114	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	4,510	0	0	0	0
	B. 執行済額		4,510				
	うち交付金充当額		3,608				
	次年度繰越額		0				0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		設計見直しにより114千円増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度			
	村内の防犯灯[水銀灯、蛍光灯]の調査及び新たな設置と撤去について設計を行う。	目標	( 調査設計 )	(            )	(            )	(            )	
		実績	調査設計実施				
			目標	(            )	(            )	(            )	(            )
			実績				
達成状況説明	村内防犯灯の聞き取り調査及び工事設計を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	設計業務の完了	目標	(            )	( 完了 )	(            )	(            )	(            )
		実績		完了			
			目標	(            )	(            )	(            )	(            )
			実績				
	進捗状況説明	完了した設計業務の中では、村内既存の防犯灯の調査及び新設箇所と撤去すべき箇所の選定を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	聞き取り調査にあたり、住民からの要望等(向きを変えてほしい、明暗の調整をしてほしい)が出てきたので、丁寧に説明を行った。	工事実施前に広報等で、住民への周知・報告を行い、理解、協力を得る。
今後の取り組み方針		
令和3年度に村内防犯灯のLED設置及び撤去工事を行い、低炭素社会への転換を実施する。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,510	4,510	3,608	902	0



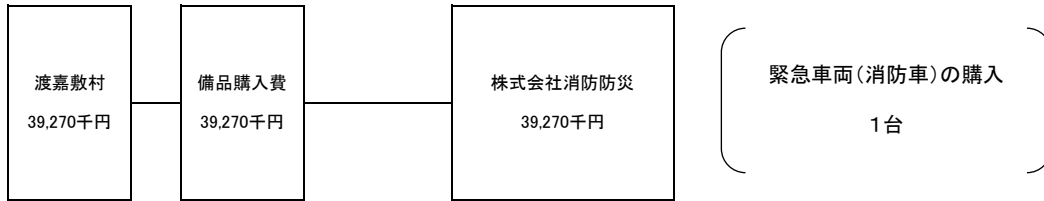
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、企画提案方式で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算の規模については妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、目的に即し必要なものであったと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村					
<b>令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>						
事業番号・事業名	5-①	渡嘉敷村防災体制強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 III-9	
事業内容	災害時における村民や観光客等の安全を確保するため、緊急車両(消防車)を整備する。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度			
	予算の状況	(a)当初予算額	41,403			
		(b)予算現額	39,270			
		(c)増減額(b-a)	▲2,133			
		(d)繰越額	0			
		A.計(b+d)	39,270			
	B.執行済額		39,270			
	うち交付金充当額		31,416			
	次年度繰越額		0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		入札執行残により2,133千円減額した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況			
			R2年度			
	緊急車両(消防車)の整備	目標	(整備)	( )	( )	( )
		実績	整備			
		目標	( )	( )	( )	( )
		実績				
達成状況説明	当初の予定通り、緊急車両(消防車)を整備した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	緊急車両(消防車)1台の導入	目標	( )	(1台導入)	( )	( )
		実績		1台導入		
	渡嘉敷村消防団訓練 12回以上/年	目標	( )	( )	(12回以上)	( )
		実績				
	進捗状況説明	当初の予定通り、緊急車両(消防車)1台を導入した。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・緊急車両(消防車)を整備したことで、村の防災力、村民・観光客等の安全性を高めていく必要がある。</p>	<p>・緊急車両(消防車)を取り扱うこととなる、渡嘉敷村消防団員のスキルアップを図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・本事業にて導入した緊急車両(消防車)を活用した訓練を実施し、渡嘉敷村消防団員のスキルアップにつなげ、渡嘉敷村の防災力向上を図る。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
39,270	39,270	31,416	7,854	0



資金の流 点検 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○受託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模については妥当である。</p> <p>○費目、用途については検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	